

# 日遊協2015年ファンアンケート調査

## 若い人ほど再開動機がある コンテンツ機の新台がカギ

広報調査委員会が2015年10、11月に全国の日遊協会員企業ホール等の来店客を対象に行った「2015年パチンコ・パチスロファンアンケート」(ホール来店客調査)結果が1月14日の第5回定例理事会で承認され、公表された。

現役プレイヤーの来店頻度は週1以上が7割弱、1回当たりの平均遊技時間は3時間以上が8割を超え、1か月の平均支出は4.1万円だった。今の遊技機の満足点はパチンコ・パチスロとも「演出が楽しい」が圧倒的に多かった。一方、不満点は両者とも共通して「大当たりしにくい」「お金をかけずに遊ぶことが出来ない」「長時間遊べない」などだった。日遊協ではこれらの分析をもとに、遊技機やホールのあり方を含めて今後の業界づくりに役立てていく。

調査にあたり全国の日遊協会員企業ホールのほか、東京都遊技業協同組合青年部、九州地区遊技業組合連合会青年部、そしてご来店のお客様方に多大なご協力を賜った。

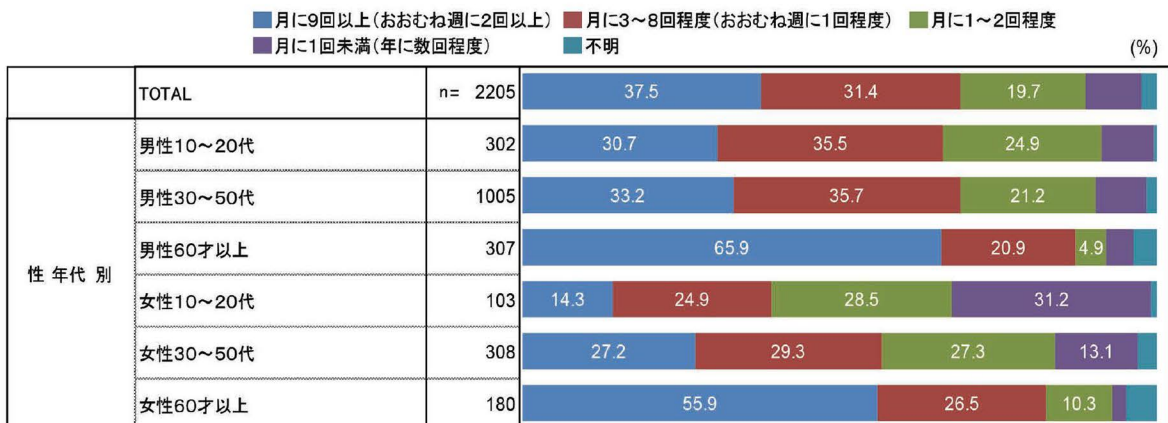
### 2015年パチンコ・パチスロファンアンケート調査実施要領

- 調査目的と内容：今後の業界発展に資することを目的に、パチンコ・パチスロファンの特長、プレー実態、ニーズ等とその動向変化を把握する。加えて、依存問題への対応ほか業界の行う様々な社会貢献活動・広報活動へのファンの認知度、評価について調査分析する。
- 調査期間：2015年10月中旬～11月下旬
- 調査対象：全国の日遊協加盟企業の有するホールの来店客及び都遊協、九遊連協力による加盟ホールの来店客。
- 調査方法：アンケート票を用意し、ホール従業員による聴き取り調査、または休憩スペースなどで回答者自身が記入する自記式調査。
- 協力社・ホール数：35社・136ホール
- 回収サンプル数：2205人
- 協力調査機関：(株)インテージ

表1 最近のホールへ行く頻度

## 現役遊技層の動向

**週1回以上が70%弱に** 来店頻度は週1回以上が70%弱に上り、このうち半分は週2回以上だった。次いで月1、2回程度が20%弱だった。



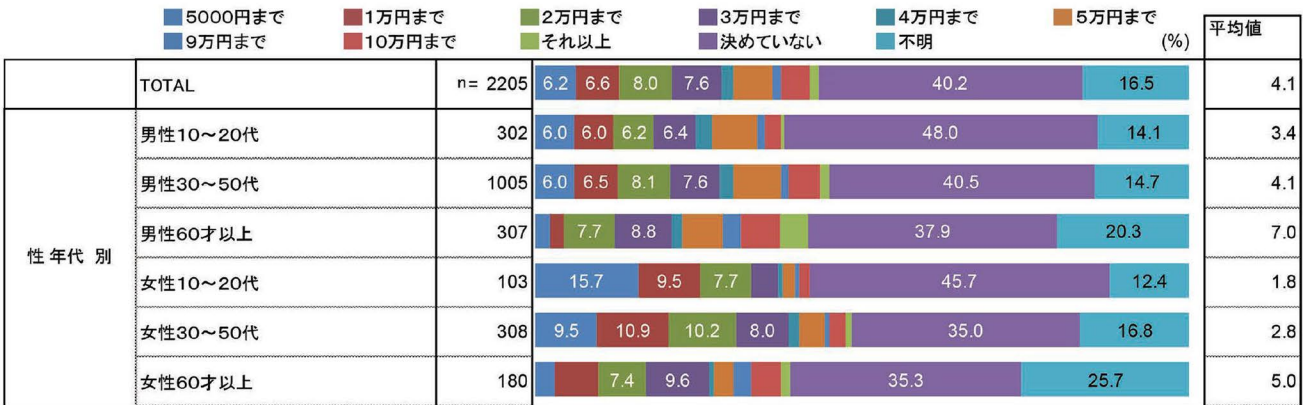
## 表2 来店1回あたりの平均遊技時間 3時間以上が80%超える

1回あたり平均遊技時間は3、4時間程度が40%強、5、6時間程度が30%強で総じて3時間以上が80%を超えた。

	n	1時間まで	1~2時間程度	3~4時間程度	5~6時間程度	7時間以上	不明
TOTAL	n= 2205	2.1	14.4	41.2	30.7	9.7	1.9

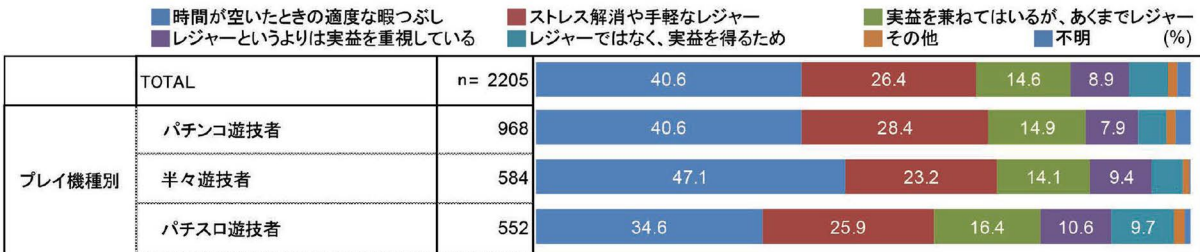
## 表3 パチンコ・パチスロを遊ぶ1か月平均の支出金額 4万円超す1か月の支出

1か月平均の支出額は4万1000円だが、半数以上は「決めていない」か「不明」となっている。



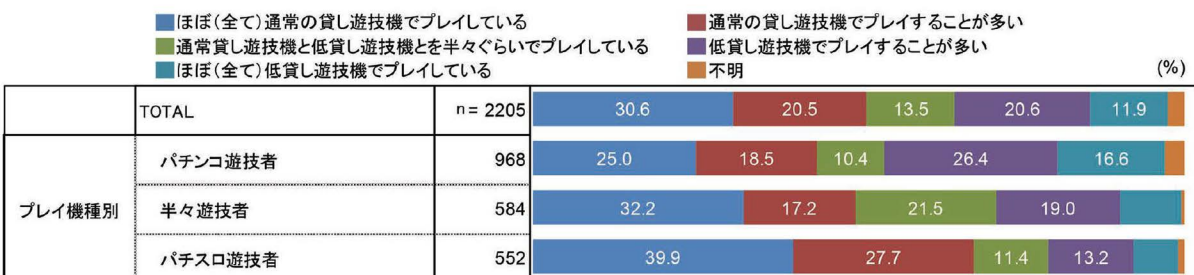
## 表4 ホールへ行く目的 「手軽に楽しむ」人が67%

ホールに行く目的は、「適度な暇つぶし」「ストレス解消や手軽なレジャー」の二つで67%を占め、実益派は30%弱だった。



## 表5 普段の通常貸し・低貸し機の遊技割合 低貸し中心が30%強に

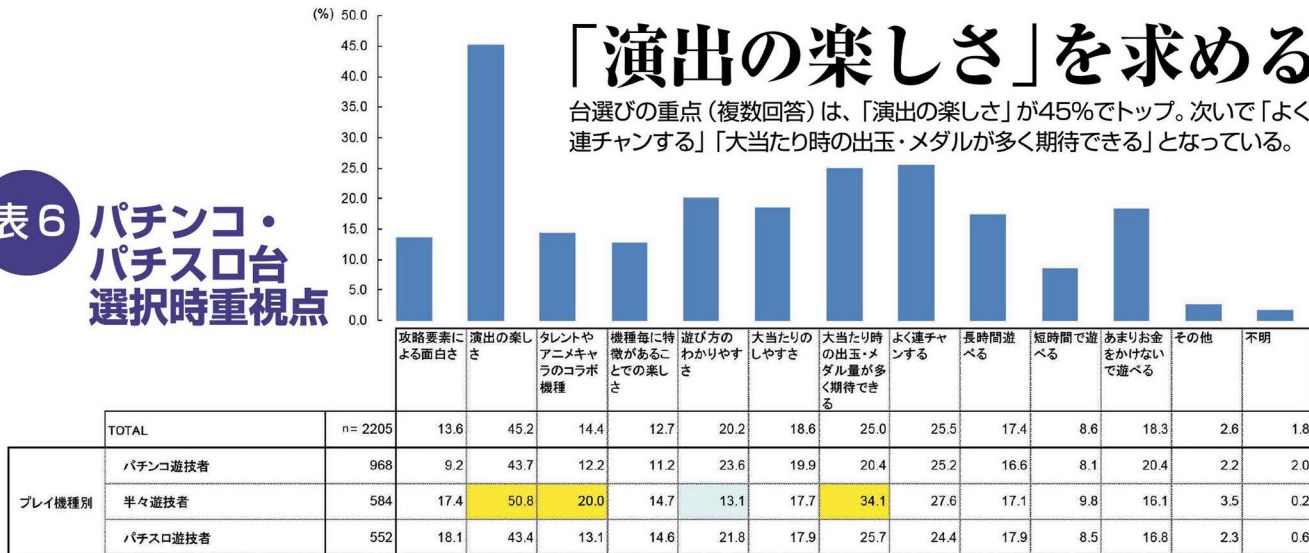
パチンコ・パチスロのプレー割合は、半数強がパチンコ中心、25%程度がパチスロ中心。両方半々も25%程度いた。通常貸し機（4円パチンコ、20円パチスロ）と低貸し機のプレー割合は50%強が通常貸し機中心、30%強が低貸し機中心、13.5%が半々ぐらいでプレーしていた。





**表6** パチンコ・パチスロ台選択時重視点

**「演出の楽しさ」を求める**  
台選びの重点(複数回答)は、「演出の楽しさ」が45%でトップ。次いで「よく連チャンする」「大当たり時の出玉・メダル量が多く期待できる」となっている。



**表7** 喫煙状況

## 非常に高く60%の喫煙率

喫煙率は非常に高く60%近くにおぼた。日本たばこ産業の調査では、平成15年の全国平均で男性31%、女性9.6%、全体で19.9%となっている。

■ 喫う ■ たまに喫う ■ やめた ■ 喫わない ■ 不明 (%)

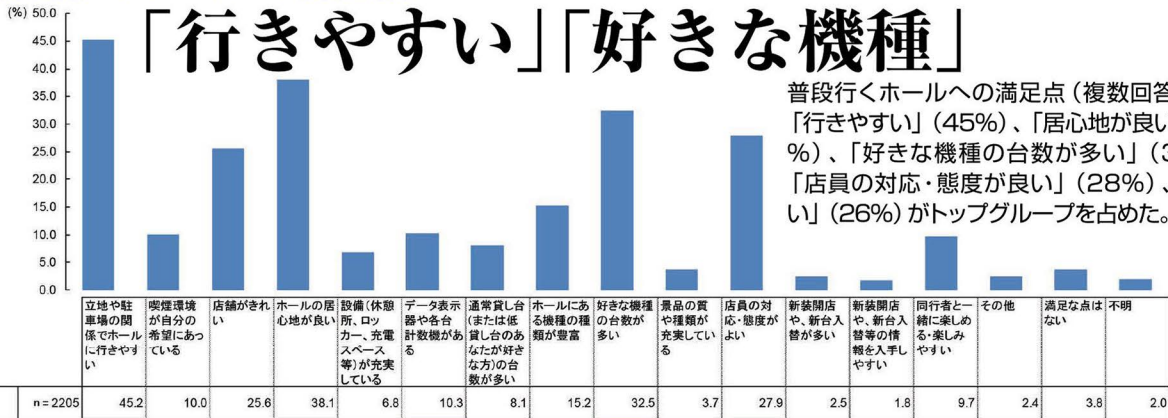


**表8** 普段行くホールの満足点

## 「行きやすい」「好きな機種」

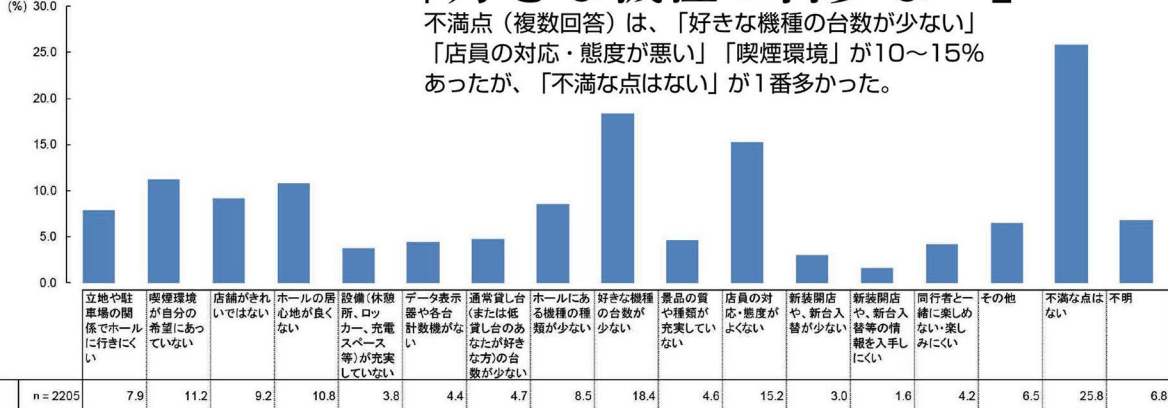
## 満足・不満足

普段行くホールへの満足点(複数回答)では、「行きやすい」(45%)、「居心地が良い」(38%)、「好きな機種の台数が多い」(33%)、「店員の対応・態度が良い」(28%)、「きれい」(26%)がトップグループを占めた。



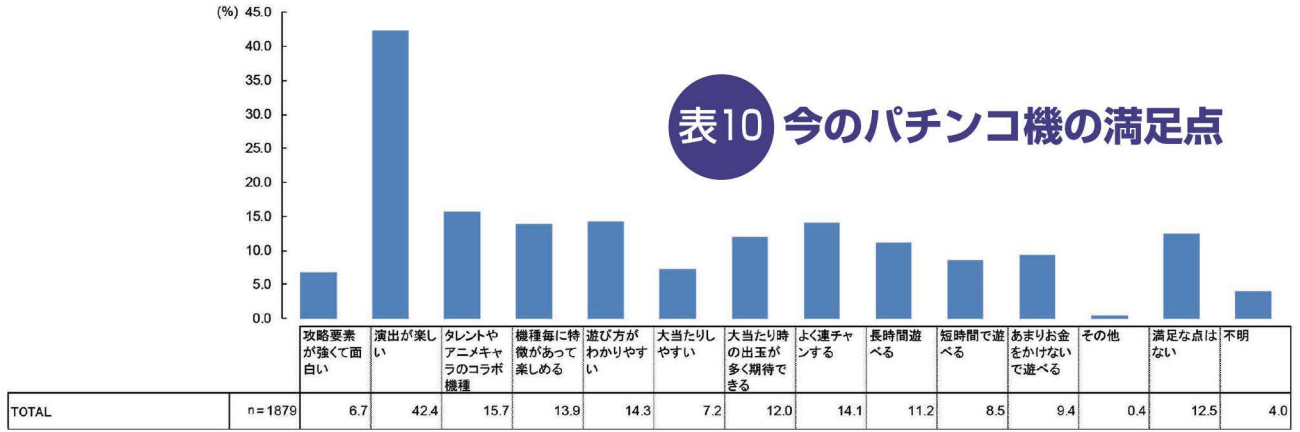
**表9** 普段行くホールの不満点「好きな機種の台数少ない」

不満点(複数回答)は、「好きな機種の台数が少ない」「店員の対応・態度が悪い」「喫煙環境」が10~15%あったが、「不満点はない」が1番多かった。



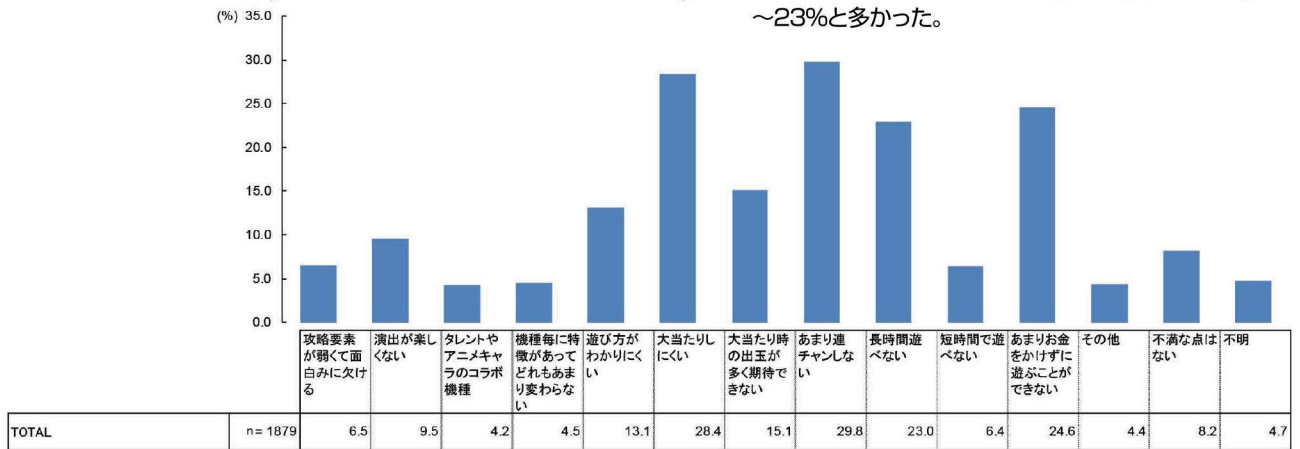
**60%の人がおおむね満足** 総合満足度で見ると、「とても満足」「満足」「やや満足」を合わせて60%が満足し、「どちらともいえない」が28%、「不満足」はわずかった。

## 表10 今のパチンコ機の満足点

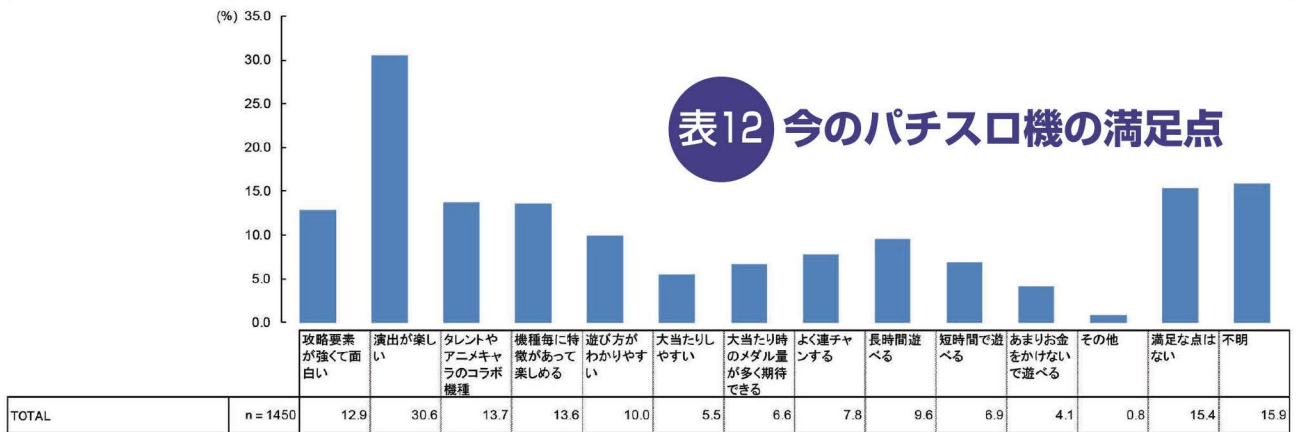


## 表11 今のパチンコ機の不満点 当たらず連チャンせず

遊技機に関して、パチンコ機の満足点（複数回答）は「演出が楽しい」が42%と圧倒的に多かった。不満点（複数回答）は「あまり連チャンしない」「大当たりしにくい」「お金をかけずに遊ぶことができない」「長時間遊べない」が29～23%と多かった。

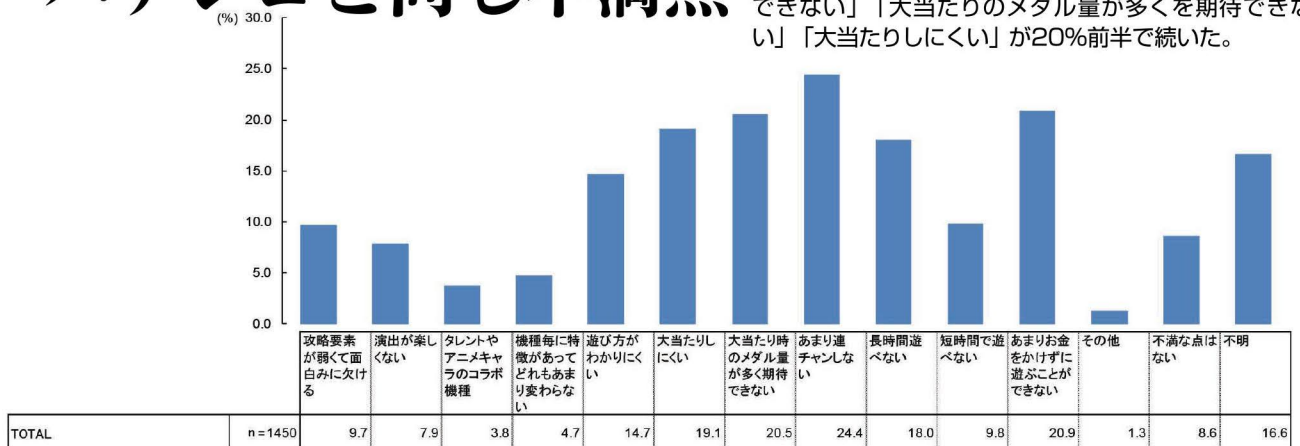


## 表12 今のパチスロ機の満足点



## 表13 今のパチスロ機の不満点 パチンコと同じ不満点

パチスロ機の満足点（複数回答）も「演出が楽しい」が30%と多かった。不満点（複数回答）は「あまり連チャンしない」24%を筆頭に、「お金をかけずに遊ぶことができない」「大当たりのメダル量が多くを期待できない」「大当たりしにくい」が20%前半で続いた。





## 現役遊技層：離反防止

表14 今後のパチンコ・パチスロの継続意向

		<span style="color:blue">■</span> とてもそう思う(7) <span style="color:red">■</span> そう思う(6) <span style="color:green">■</span> ややそう思う(5) <span style="color:purple">■</span> どちらともいえない(4) <span style="color:teal">■</span> あまりそう思わない(3) <span style="color:orange">■</span> そう思わない(2) <span style="color:lightblue">■</span> まったくそう思わない(1) <span style="color:red">■</span> 不明								平均値
TOTAL		n = 2205	8.9	29.0	21.6	26.1				4.9
性年代別	男性10~20代	302	11.0	22.5	26.4	23.8				4.8
	男性30~50代	1005	8.1	29.6	21.3	27.1				4.9
	男性60才以上	307	13.7	37.9	20.9	17.6				5.4
	女性10~20代	103	5.9	17.0	19.7	33.5	11.9			4.3
	女性30~50代	308	4.5	28.8	21.1	31.9				4.8
	女性60才以上	180	11.0	29.4	18.4	24.3				5.1

### 60%の人が継続する意志

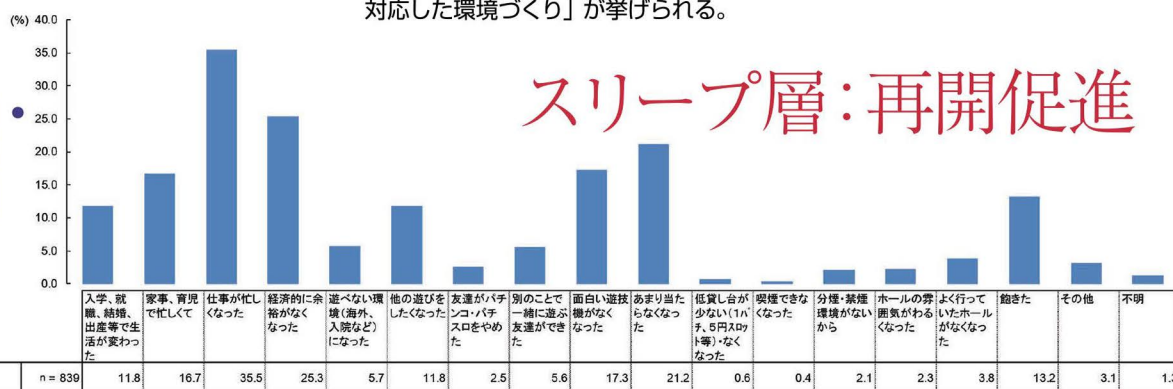
今後もパチンコ・パチスロを続けたいと思っているかとの質問に、継続意向を示した人は約60%いた。「どちらともいえない」が26%おり、残り約15%が「継続しない」か「不明」となっている。継続しない理由（複数回答）には「あまり勝てないから」「お金がかかり過ぎるから」が各40%近くで多かった。

### 「少額」「当たり」の要素克服を

離反防止策は、前項の「満足・不満足」等から、機種に関する課題として、経済的には「お金をかけずに遊べる/長時間遊べる」、勝ち負け上では「出玉量/連チャンのしやすさ/大当たりしやすさ」が指摘され、「少額で楽しめる機種づくり」「当たりの楽しさを味わえる機種づくり」が必要となる。

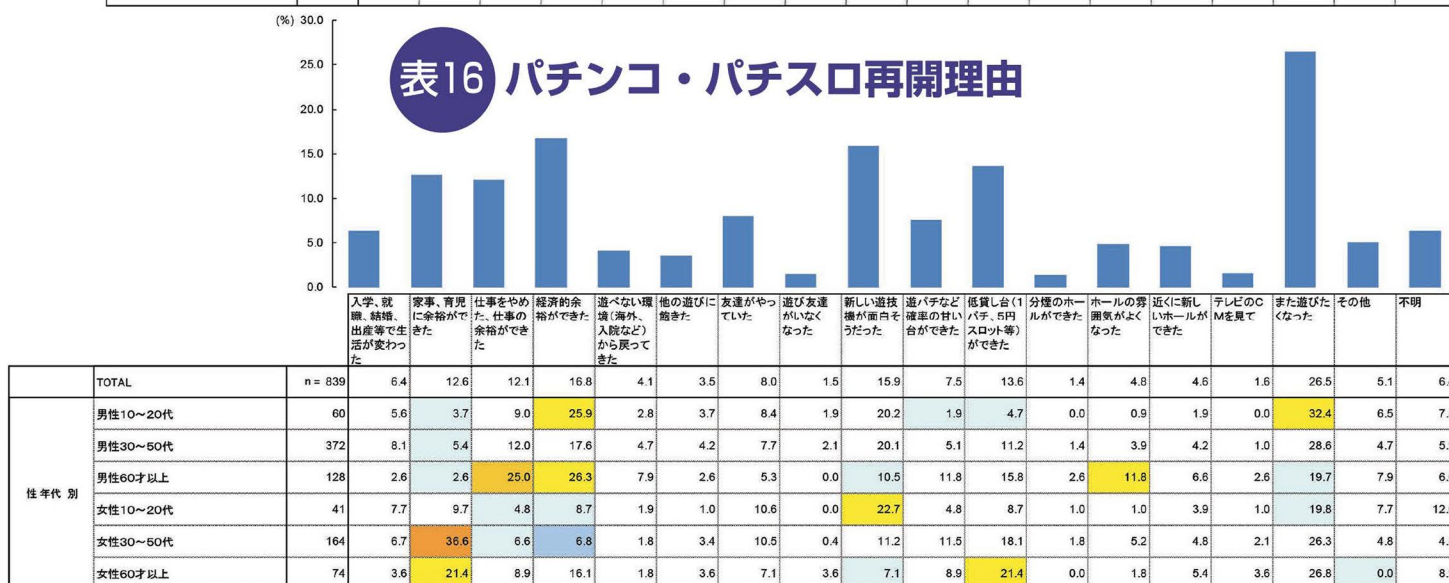
またホールに関する課題として、設置機种的には「好きな機種の台数」、環境的には「非喫煙者に適した環境/静かな店内」が指摘され、「好きな機種が、台を選べる程度設置されているホールづくり」「現遊技者と異なるニーズに対応した環境づくり」が挙げられる。

表15 パチンコ・パチスロ中断理由



## スリープ層：再開促進

表16 パチンコ・パチスロ再開理由



### 「経済」など中断理由は様々

1年以上のプレー中断経験者は38%いた。中断理由は「仕事が忙しくなった」36%を筆頭に、「経済的に余裕がなくなった」「あまり当たらなくなった」「面白い遊技機がなくなった」「家事・育児でいそがしくなった」が25~10%台後半で続いている。一方、再開理由は「また遊びたくなった」が27%でトップ。次いで「経済的に余裕ができた」「新しい遊技機が面白そう」「低貸し台ができた」となっている。基本的に前項の離反防止策がスリープ層の再開促進にもつながる。ターゲットは若年層で、年齢が低いほど勧誘の移行や再開意向が高いとしている。また、コンテンツ機種による誘因が効果的と考えられている。

表17 誰かをパチンコ・パチスロに誘った経験

## 新規層に「騒音対策」「禁煙」

過去に誰かをプレーに誘った経験を質問（複数回答）したところ、30%が未経験者を誘った経験があった。

勧誘が重要だが、新規層は現役遊技者と異なる点が多く、とくにホールは現役遊技者のニーズを満たしつつ、新規層のニーズに対応するため、騒音対策や分煙・禁煙の充実等の工夫が必要となる。また、ここでも離反防止策が重要な要件となる。

新規層のターゲットには ①10～20代（獲得しやすい）②60代以上（獲得しにくい）が離反リスクが少ない）——が挙げられた。

## 新規層の獲得

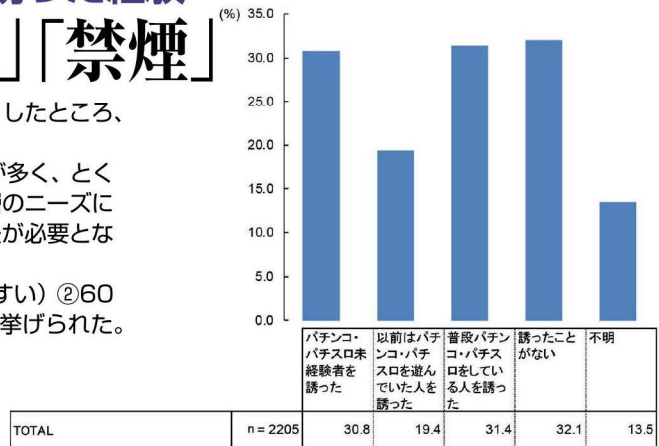


表18 最も欲しいと思う新機能

## 期待大きい「認知症予防」

これから欲しい新機能を聞いた。「脳の活性化（認知症予防）」がパチンコ・パチスロ共通で一番高かった。ほかに「ヘッドホン機能搭載」「リールスピードの変更」等が票を集めた。

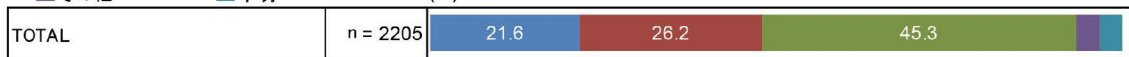
## 欲しい新機能

	パチンコ	パチスロ
全体	「脳が活性化（認知症予防）」が最も高く3割弱他の機能はそれぞれ大差なし（1割前後）	
ステータス 特徴	新規層：「ヘッドホン機能搭載」	新規層：「ドルビーサラウンド」、「ヘッドホン搭載機能」再開層：「リールスピードを変えられる」
年代特徴	男性10-20代	「他の人とリアルタイムで競える」「ドルビーサラウンド」
	男性60代	「脳が活性化（認知症予防）」
	女性10-20代	「ヘッドホン搭載機能」「他の人とリアルタイムで競える」
	女性30-50代	「ヘッドホン搭載機能」
	女性60代	「脳が活性化（認知症予防）」「健康につながる」

表19 業界の行う社会貢献活動に対する意見

## 貢献を認める回答が66%

- 業界は積極的に社会貢献活動を行う役割がある
- 業界のイメージアップを図るために社会貢献活動をするべきだ
- 社会貢献活動をするに越したことはないが、まずはファンサービスに努めるべきだ
- その他
- 不明



業界の社会貢献活動に対する意見を聞いた。「積極的に行う役割がある」「イメージアップのために行うべき」を合わせて48%を占める一方、「まずはファンサービスを」も45%あった。現在の社会貢献度については、「十分貢献している」14%、「ある程度貢献している」52%となっているが、「貢献不足」が22%、「全く貢献していない」が10%あった。

表20 パチンコ業界に望む対策

## 「自己申告」に一定の関心

依存問題では、関心を持っている人が41%だった一方、「あまり関心がない」「まったく関心がない」は計57%いた。関心を持つ人に業界に望む対策（複数回答）を聞いたところ、「やめ時がわかりやすい台の普及」「『適度な遊び』の啓発」がそれぞれ40%前後にのぼった。日遊協の「自己申告プログラム」に相当する「自分の設定した金額や時間を超えると知らせるシステム」の意見も18%あった。

